

仲多度・善通寺支部メディア教育研究部会活動報告

研究主題

「ICT機器活用の日常化」

1 はじめに

「教育の情報化」は、生きる力としての重要な要素である「情報活用能力の育成」（情報教育）の部分と教科等の目標達成のための授業等での「機器等の効果的活用」という2つの側面がある。

本支部においては、徐々に整備されつつある情報機器や校内ネットワーク（ICT教育機器）を「わかる授業」や「学習意欲の向上・維持」にいかに関活用していくかを「活用の日常化」という視点で実践し、その成果を会員相互に共有することを目的としながら実践を進めている。ただ、各中学校のICT機器や校内LAN等の整備実態（環境）は様々であり、よりよい教育活動の実践と教育環境の充実を共通目標として、各学校の実態に合わせた実践研究を進めているところである。

2 研究の経過

（1）4月25日（金）総会

場所：善通寺市立西中学校

内容：研究組織，研究主題，研究内容

（2）7月29日（火）教科外研究会

場所：まんのう町立満濃中学校

内容：各校の取り組み発表

シンクライアントシステムの講習

3 各校の実践事例

（1）プレゼンテーション教材の自作

教材提示の場面で、鑑賞教材の画像をプロジェクタで投影することによって、浮世絵や判じ絵が何を意味しているかを全体で考えさせる。（プレゼンテーション教材の活用）



（2）インターネット上のコンテンツの活用

技術・家庭科の授業において、様々な発電方法やその特徴，課題等を，四国電力のWebページ「GO!GO!デンキーズのエネルギー探検！」を利用して説明した。Flashで作られたコンテンツは分かりやすく好評であった。その内容をレポート形式のまとめテストで整理させた。

URL <http://www.yonden.co.jp/life/kids/denkies/>

4 ICT機器の環境にかかわる教員研修 （シンクライアントシステムについて）

満濃中学校に平成20年3月に導入されたシンクライアントシステムについての講習を実施した。本システムの特徴や利点等は以下のとおりである。

Diskless XP

（コンピュータエデュケーションシステム株式会社）

クライアントコンピュータを「ディスクレス化」してハードディスク部分をサーバに集約することでネットワーク上のホスト端末のハードディスクからWindows,アプリケーションを起動し，通常のコンピュータと同等の利用ができるシステムである。

その特徴は，4つある。

- （1）生徒用コンピュータに故障の高いHDがないので故障率の低下に繋がる。
- （2）生徒用コンピュータが，1つのイメージを共有するので，生徒用コンピュータをすべて同じ環境にできる。
- （3）コンピュータにHDがないので，持ち出しや盗難にあっても情報漏洩（データの持ち出し）がない。
- （4）ホストコンピュータからUSB管理キーを抜いておけば，生徒用コンピュータのWindowsは起動せず，勝手に生徒用コンピュータを使われることがない。

新しく整備をする学校や今後更新される学校にとっては、貴重な研修であった。

5 情報モラル教育への取組みについて

学習指導要領の改訂においても情報モラル等の指導の充実が示されており、ICT機器の日常的な活用を推進するうえでも重要な視点であることから、各校の実践内容について情報交換を行った。

(1) 各校の取組み

著作権や、情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と、発信者としての責任について知ることができるようにするとともに、情報化社会において適正に活用する能力と態度を育成することが重要である。

(2) 技術・家庭科、特別活動での指導

教材として、文化庁監修の「まんが著作権教室」や新聞記事を利用して、メールによるトラブルを紹介し、個人情報の扱い方に注意を促す指導を行っている。

「ネット社会の影を考えよう」という授業では、長崎県小六女児事件でクローズアップされたインターネット掲示板の書き込みによるトラブルを題材とし、様々なネットコミュニケーションの危険性を学習した。また、コンピュータ教室内でチャット体験をさせ、安全で楽しいチャットの仕方とともに、チャットの裏側にある危険性を模擬体験させた。

ネットオークションやメールによる中傷に関するDVD教材を視聴させ、その危険性や問題点を明確に印象づけた。

これらの実践の課題として

- 生徒の理解を深める授業展開や指導法の工夫の必要性
 - 印象に残るような教材の開発の必要性。
 - 著作権や肖像権についての認識が甘い。
- 等の課題が明らかになるとともに、実態にあった指導計画の作成が求められる。

(2) 情報モラルに関する教員研修

支部会員全員で、情報モラルについての研修を深めた。クイズを解きながら、興味を持って取り組めており、各校での実践につながられるものと期待される。

※研修に使用したWebサイト

しまちゃんの

「情報モラルクイズに挑戦しよう！」

URL <http://kiz.tonosama.jp/>



(3) 情報モラル研修に役立つ

教職員支援サイト

- ①独立行政法人教員研修センター情報モラル・授業サポートセンター

<http://sweb.nctd.go.jp/support/index.html>

- ・情報モラル指導サポート事業

http://sweb.nctd.go.jp/g_support/index.html

- ・5分でわかる情報モラル

http://sweb.nctd.go.jp/5min_moral/index.html

- ②財団法人コンピュータ教育開発センター (CEC)

- ・ネット社会の生き方

<http://www.cec.or.jp/net-walk/>

- ③社団法人日本教育工学振興会 (JAPET)

- ・やってみよう情報モラル教育

<http://kayoo.info/moral-guidebook-2007/>

- ④香川県教育委員会

- ・情報モラル教育の手引き

(平成16年10月)

<http://www.pref.kagawa.jp/kenkyoui/gimu/>

[/zyouhou/moraru_tebiki.pdf](http://zyouhou/moraru_tebiki.pdf)

6 おわりに

「教育の情報化」の施策により、ICT機器の教育現場での活用は、特定の教科や特定の場面だけでなく、学校生活のさまざまな場面で活用することが期待されその有効性も叫ばれている。しかし、校内LANを含めた機器の整備状況などの利用環境の壁や、教職員の活用意識の温度差も大きいのが実情である。本年度は、機器活用の日常化だけでなく「情報モラル研修」や「シンクライアントシステム」という新しいシステムについての研修を深めた。今後も会員を中心に各校での教員研修を充実させるとともに、さらなる実践の積み上げと成果の共有を行いながら「教育の情報化」に努めたい。